

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA120	科目名	中国語Ⅱ	担当者名	藤巻 啓森
授業の概要	この科目は入門編を終了した学生のために、引き続き正しい発音することができる能力を身につけるようにする。そのための耳と口の徹底的な訓練過程で基礎的な語句や文を学びながら、単文を中心とした口語の基本文法をマスターすることを目的とする。口語の基本的な例文を繰り返し徹底的に学習し、例文のすべてを正確に音声化することで将来の運用能力養成の前提となるよう進めたい。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> この科目は、中国語Ⅰのあとをうけ、さらに一歩進んだ中国語の基礎事項を学習することにある。引続き徹底した発音訓練を行うのはもとより、文法的には複文を含むやや複雑な文法に進む。「中国語能力検定試験」の4級に合格するように目指す。 中国語会話の学習を通じて、中国の文化・歴史・社会・生活・習慣などを理解する。視野を広め、異文化への理解をより一層深めさせ、国際化する現代の社会に適応する人としてのあり方を考えさせる。 				
DPの観点	コミュニケーション能力、幅広い教養				
授業時間外学修(予習・復習)	毎日5分でも復習する必要がある。				
フィードバックの方法	教務課より中間及び期末試験の結果を返却する。				
単位認定の要件	授業態度、学習意欲、そして期末試験の成績により単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	1. 期末試験 80% 2. 出席率及び授業態度 20%				
履修上の注意事項	事前の予習、事後の復習必要あり				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			第10課 出来事を探る② 様態補語 “是～的”“～なのです”	コミュニケーション能力	会話
2			第11課 希望を探る 1. 助詞“想”“～したい” 2. 動作の完了を表す“了” “～した” 3 前置詞	コミュニケーション能力	会話
3			第12課 行き方を探る “怎么”“どうやって” “どのように”	コミュニケーション能力	会話
4			第13課 経験を探る 経験を表す“过” “～したことがある”	コミュニケーション能力	会話
5			復習 III	コミュニケーション能力	練習問題の提出
6			第14課 相手の都合を探る 1. 助動詞“会”“～できる” 2. 助動詞“能”“～できる” 3 連動文②	コミュニケーション能力	会話
7			第15課 比較する 1 比較を表す“比” 2 反復疑問文	コミュニケーション能力	会話
8			第16課 条件・情報を探る① 1 全治し“离”“～から／～まで” 2 “有点儿”“ちょっと”	コミュニケーション能力	会話
9			第16課 条件・情報を探る② 1 比較を表す“没有” 2 動詞の重ね型	コミュニケーション能力	会話
10			第17課 進行状況を探る ① 動作の進行を表す副詞“在”	コミュニケーション能力	会話
11			第17課 進行状況を探る ② 結果補語	コミュニケーション能力	会話
12			第18課 別れを告げる ① 助動詞“要” “～しなければならない”	コミュニケーション能力	会話
13			第18課 別れを告げる ② 変化を表す“了”	コミュニケーション能力	会話
14			復習 IV	コミュニケーション能力	練習問題の提出
15			総合復習	コミュニケーション能力	練習問題の提出
期末試験			筆記試験		

使用テキスト	『できる・伝わる コミュニケーション中国語』
参考文献 参考URL	随時に指示
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--